

## きれいな花を咲かせてね！ 町内小学校で「人権の花」運動

昨年11月、町内のすべての小学校で花の苗の植え付けが行われました。「人権の花」運動として行われたもので、花の種や苗などを、児童らが協力して育てることで、生命の尊さを実感し、豊かでやさしい思いやりの心と人権思想を育むことを目的としています。

植え付けには、人権擁護委員なども参加。児童らは、花の苗を植えるだけでなく、お互いに協力して水やりや片付けをしたり、上級生が下級生に声をかけるなど、協調性や責任感を持って取り組みました。作業を終えた子どもたちからは、元気いっぱい笑顔がふられていました。  
(人権啓発係)



真剣に作業する子どもたち。育てた花は、3月の卒業式会場などに飾られる予定です。

## あかつき館の夜を彩る キャンドルとアンデス音楽

「キャンドルとフォルクロールの夕べ」が、11月15日、大方あかつき館で行われました。いの町在住のキャンドルアーティスト・moucandle(モーキャンドル)の展示は、2012年に続き2回目。外の大階段には南アメリカ大陸の形にキャンドルを並べるなど、館内外を色とりどりのキャンドルで包み込みました。

また今回は、ケーナなどの演奏グループ、ロス・トマテスが「コンドルは飛んでいく」などのアンデス音楽(フォルクロレ)を披露。寒い夜でしたが、多くの方が集まり、手拍子をしながら、演奏を楽しんでいました。



キャンドルの中で聴くアンデス音楽は、異国情緒たっぷり。海辺にいることを忘れるひととき。

## 上川口浦地区1人暮らしの高齢者宅で家具固定を支援

黒潮町では、地震発生時により早く安全に避難できるように、家具の転倒やガラスの飛散を防止する対策に補助金を交付しています。

しかし、家具の固定の必要性は分かっているにもかかわらず、申請が面倒という人もいらないでしょうか。

上川口浦地区では、昨年、高知大学と連携して、地域内の1人暮らしの高齢者のうち希望する13人について、自宅の家具転倒防止対策などを支援する取り組みを実施しました。

7月に各家庭を回り、寝室や居間、玄関までの避難経路などで倒れそうな家具がないか、危険なガラスはないかなどをチェック。必要な器具を確認し、ホームセンターへ注文。11月にもう一度高齢者宅を回り、家具の固定やガラスの飛散防止フィルムの取り付けを行いました。取り付けには、高知大学と立命館大学の学生ら19人が参加し、地域住民らと6班に分かれて対象者宅を訪問。慣れない作業に最初は手間取りましたが、次第にコツをつかみ、役割分担しながら



右上・7月にホームセンター・マル二の協力で行った家具固定などの講習会。他・11月、住民と大学生らが高齢者宅を回り、家具の固定やガラスのフィルム貼りを実施。

ら取り付けを行いました。

今回、家具の固定などにかかった費用は、1戸あたり平均1万2千円程度で、その2分の1(上限1万円まで)を黒潮町が補助します。補助金の申請についても地区が取りまとめ、町補助金以外の個人負担分は地区の予算でまかなうなど、高齢者の負担を軽減しました。今年度の補助申請は2月末ごろまで受け付けます。詳しくは、南海地震対策係(☎43-2188)へお問い合わせください。